

中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト

【R8.5末時点】

～令和5年6月大雨を受けて国・県・市町が連携し、緊急的な取組を実施～



○ 令和5年6月大雨（台風第2号）により甚大な浸水被害が発生した中川・綾瀬川流域の埼玉県下流部（春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町）において、早期に内水被害の軽減を図るため、国・埼玉県・関係市町が連携し「中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト」をとりまとめました。

○ 今回の浸水被害の要因が内水氾濫であることを踏まえ、以下の流域治水の取組を実施し、概ね5か年で浸水被害の大幅な軽減を目指します。

- ・市町等において「排水ポンプ整備等の排水機能強化」や「雨水貯留施設整備等の貯留機能強化」など、内水氾濫対策の加速化
- ・国、県において、内水の排水先となる河川での「堤防整備」や「河道掘削」など、洪水氾濫対策の加速化
- ・小型浸水センサによる流域の浸水状況把握などソフト対策などの推進

○ 検討中の項目については対策の詳細な検討を行った上で、プロジェクトに反映する方針

■ 全体事業費 約 373 億円
 【国:約246億円、県:約127億円】
 ■ 事業期間 令和5年度～令和12年度
 ※この他に、関係市町の実施する事業がある。

● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

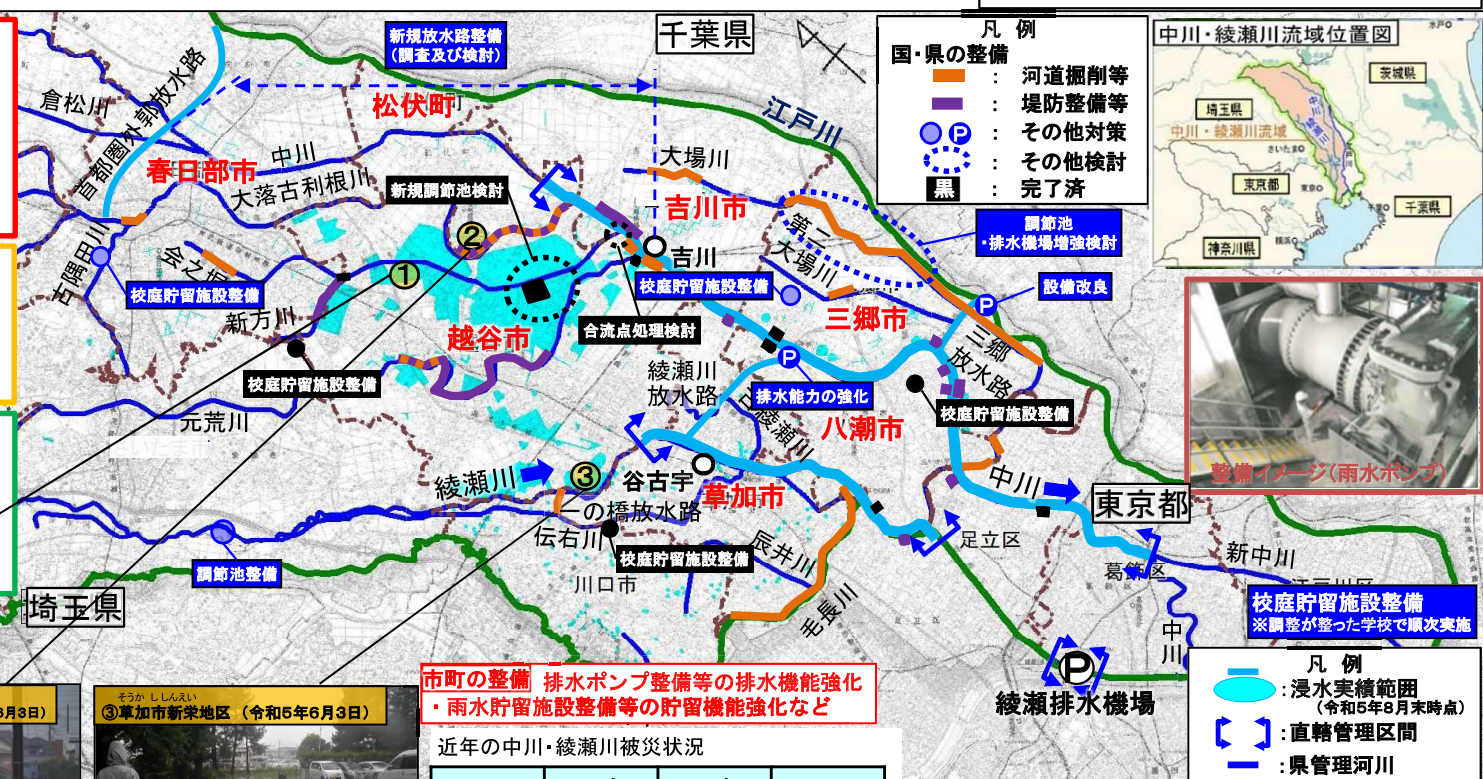
- ・内水氾濫対策
 （排水ポンプ施設整備、雨水貯留施設整備等）
- ・洪水氾濫対策
 （河道掘削、堤防整備等）
- ・特定都市河川浸水被害対策法に係る検討・調整
 （貯留機能保全区域の指定等に係る調整） など

● 被害対象を減少させるための対策

- ・まちづくりでの活用を視野にした水災害リスク情報の充実
 （多段階な浸水リスク情報の充実等）
- ・特定都市河川浸水被害対策法に係る検討・調整
 （浸水被害防止区域の指定に係る調整） など

● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・排水施設の稼働状況の共有
- ・排水（内水）ポンプ場の運転ルール等の点検
- ・土地の水災害リスク情報の充実、避難体制の強化
- ・関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化
 （小型浸水センサの設置他） など



市町の整備 排水ポンプ整備等の排水機能強化
 ・雨水貯留施設整備等の貯留機能強化など

近年の中川・綾瀬川被災状況

	H27.9豪雨	R1.10豪雨	R5.6大雨
浸水面積	約1,040ha	約80ha	約590ha
浸水戸数	約4,840戸	約970戸	約4,100棟

※速報値のため、今後修正が生じる場合があります。

※今後の検討により、変更があり得る
 ※『合流点処理検討』『新規放水路整備』『新規調節池検討』『調節池・排水機場増強検討』は、詳細について引き続き検討を行い、プロジェクトに反映する方針。

市町の対策の詳細は3ページ以降に掲載 1

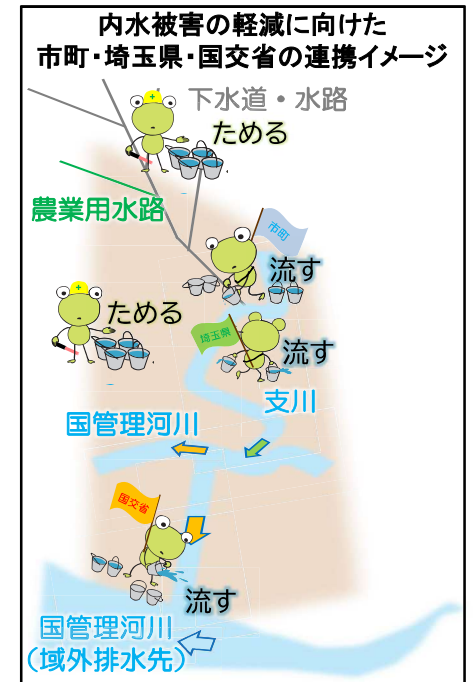
中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト

【R8.5末時点】

～令和5年6月大雨を受けて国・県・市町が連携し、緊急的な取組を実施～

- 中川・綾瀬川流域（埼玉県下流部）において、内水被害の軽減に向け、国・埼玉県・関係市町の連携・役割分担のもと、流域治水の取組を進める。
- 市町等において、調整池等の整備や田んぼダム等の取組を進めることにより貯留機能を強化するとともに、下水道管理や水路、排水ポンプの整備等により、内水の河川への排水機能を強化するなど、内水氾濫対策を強化。
- 国、県において、内水の排水機能が強化されることを踏まえ、その受け入れ先となる河川において、堤防整備や河道掘削、調節池の整備等を進めるとともに、排水機場の増強等による域外排水など、洪水氾濫対策を強化。

区分	組織	対策内容	対象地区	R5 災害対応等	短期（概ね5か年）	中長期	備考
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策							
中川（支川含む）							
洪水氾濫対策	国	堤防整備等	中川地区、六ツ木地区、伊勢野Ⅱ地区、戸ヶ崎地区、境木地区、東町地区、柿木地区、吉川地区、八条地区				
	県	橋梁架換、樋門改築、堤防嵩上	新方川				
	県	堤防整備、河道掘削	元荒川、大落古利根川				
	県	河道掘削、樹木伐採	会之坂川、新方川、元荒川、大場川、第二大場川、大落古利根川				
内水氾濫対策	市町	下水道管路整備					
	市町	水路整備					
	市町	排水ポンプ整備・増強					
	県	校庭貯留施設整備					
	市町	調整池整備、校庭貯留施設整備、田んぼダム					
綾瀬川（支川含む）							
洪水氾濫対策	国	堤防整備	浮花地区、大曾根地区				
	国	排水能力の強化	八湖排水機場	短屋			ポンプの増設
	県	河道掘削、樹木伐採	毛長川、一の橋放水路				
	県	調節池整備	横根調節池（綾瀬川）				
内水氾濫対策	市町	下水道管路整備					
	市町	水路の整備					
	市町	排水ポンプ整備・増強					
	県	校庭貯留施設整備					
	市町	調整池整備、校庭貯留施設整備、田んぼダム					
流域全体							
特定都市河川浸水被害対策法に係る検討・調整	共通	貯留機能保全区域の指定等に係る調整					
被害対策を減少させるための対策							
	共通	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まいの工夫、立地適正化計画の作成に向けた検討 まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実、浸水被害防止区域の指定に係る調整					
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策							
	共通	土地の水災害リスク情報の充実、避難体制の強化、関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化（小型浸水センサの設置 他）					
詳細検討を進める対策							
洪水氾濫対策	国	新規放水路整備	中川				※詳細について引き続き検討を行い、プロジェクトに反映
	国県	合流点処理検討（県）	新方川（越谷市内）				※詳細について引き続き検討を行い、プロジェクトに反映
	県	新規調節池検討（市と連携）	新方川				※詳細について引き続き検討を行い、プロジェクトに反映
	県市	調節池・排水機場増強検討（県市連携による浸水対策の検討）	大場川（三郷市内）				※詳細について引き続き検討を行い、プロジェクトに反映
内水氾濫対策	市町	新規調整池検討（県と連携）	新方川（越谷市内）				※詳細について引き続き検討を行い、プロジェクトに反映

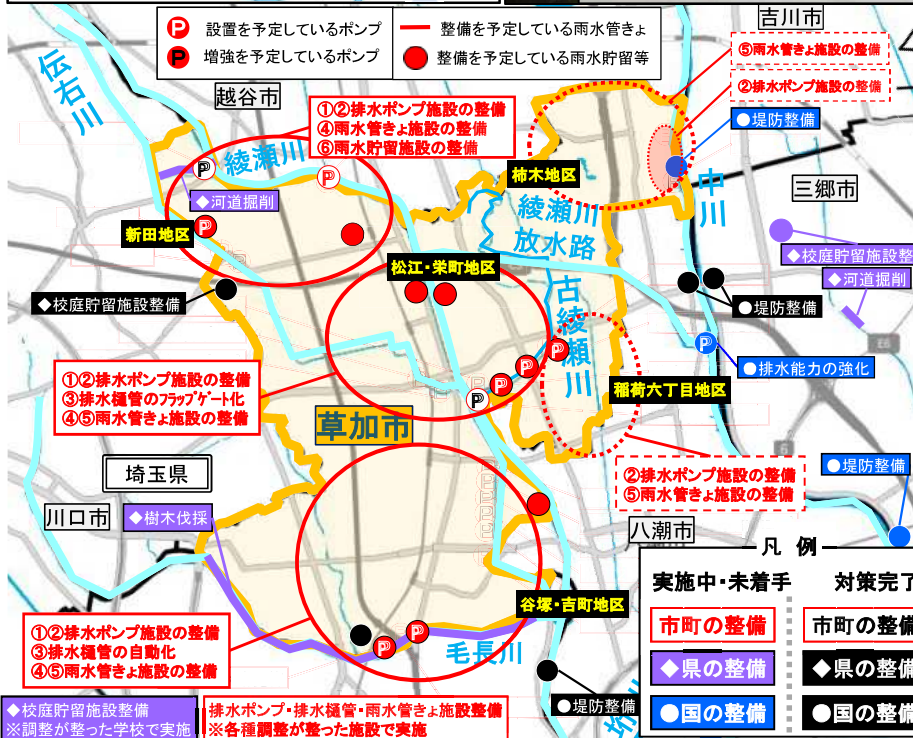


中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト【草加市】

【R8.5末時点】

～令和5年6月大雨を受けて国・県・市町が連携し、緊急的な取組を実施～

- 本プロジェクトでは、令和5年6月大雨（台風第2号）により甚大な浸水被害が発生した中川・綾瀬川流域（埼玉県下流部）において、国・埼玉県・関係市町が連携し、被害が著しかった地域の内水被害にも寄与する流域治水の対策を進めます。
- 草加市では、「**氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**」として、内水氾濫に対応するための排水ポンプ施設の整備、排水樋管のフラップゲート化・自動化、雨水管きよ施設の整備を行います。「**被害対象を減少させるための対策**」として、特定都市河川浸水被害対策法に係る検討・調整を実施します。また、浸水箇所を早期に把握し、早期復旧・復興に努めるため、「**被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**」を推進してまいります。
- 検討中の項目について、引き続き具体的な検討を行ってまいります。



区分	対策内容	対象地区	主体	期間	
				概ね5年	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	●河川整備（堤防整備）	中川、綾瀬川	国	→	
	●排水能力の強化	八潮排水機場	国	→	
	◆河道掘削、樹木伐採	一の橋放水路、毛長川	県	→	
	◆校庭貯留施設整備		県	→	
	①排水ポンプ施設の整備	新田地区、松江・栄町地区、谷塚・吉町地区	市	→	
	②排水ポンプ施設の整備	柿木地区、新田地区、稲荷六丁目地区、松江・栄町地区、谷塚・吉町地区	市	→	検討中
	③排水樋管のフラップゲート化・自動化	松江・栄町地区、谷塚・吉町地区	市	→	
被害対象を減少させるための対策	④雨水管きよ施設の整備	新田地区、松江・栄町地区、谷塚・吉町地区	市	→	
	⑤雨水管きよ施設の整備	柿木地区、稲荷六丁目地区、松江・栄町地区、谷塚・吉町地区	市	→	検討中
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑥雨水貯留施設の整備	新田地区	市	→	
	⑦特定都市河川浸水被害対策法に係る検討・調整		国県市	→	
	土地の水災害リスク情報の充実（雨水出水浸水想定区域図の作成等）		市	→	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化（まるごとまちごとハザードマップの整備等）		市	→	
	関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化（小型浸水センサの設置の検討 他）		市	→	
			市	→	